

奄美情報処理専門学校 工業課程 システム情報処理科 自己評価表

1. 学校の教育目標

実践的技術教育を通じて、工学的知識・技術の基本を備え新しい"もの"の創造・開発に粘り強く挑戦できる技術者を育成する。
 豊かな教養、技術者としての倫理観を身につけさせ、社会に貢献できる広い視野を持った技術者を育成する。
 産業のグローバル化に伴い、国際社会において自分の考えを表現できる表現力やコミュニケーション力を備えた技術者を育成

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

地域産業の発展に貢献するため、課題探求能力を有し、設定した課題に向かって果敢に挑戦できる技術者を育成する。

3. 評価項目の達成及び取組状況

(1) 教育理念・目標

適切…4、ほぼ適切…3、
やや不適切…2、不適切…1

該当の数字を入力して下さい

| 評価項目 | 講師1 | 講師2 | 講師3 | 講師4 | 平均 |
|--|-----|-----|-----|-----|----|
| ・学校の理念・目的・育人人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか) | 4 | 4 | 4 | 3 | 4 |
| ・学校における職業教育の特色は何か | 4 | 4 | 3 | 4 | 4 |
| ・社会経済ニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか | 4 | 4 | 4 | 3 | 4 |
| ・学校の理念・目的・育人人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に 周知されているか | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 |
| ・学科の教育目標、育人人材像は、学科等に対応する業界にニーズに 向けて方向づけられているか | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 |

①課題

昨年同様だが、学校の専門分野における特性は明確だが周知が足りない

②今後の改善方策

インターネットやSNSを使って広報活動強化。

自己評価表はインターネットで閲覧可能なので、周知する機会を定期的に設ける。

③特記事項

中高生向けガイダンス、職業体験やセミナー研修等の開催で周知できたのは良かった。

地元小中高や市町村と連携し、引き続き活動を行っていく。

(2) 学校運営

適切…4、ほぼ適切…3、
やや不適切…2、不適切…1

| 評価項目 | 講師1 | 講師2 | 講師3 | 講師4 | 平均 |
|---|-----|-----|-----|-----|----|
| ・目的等に沿った運営方針が策定されているか | 4 | 4 | 3 | 3 | 4 |
| ・運営方針に沿った事業計画が策定されているか | 4 | 3 | 3 | 3 | 3 |
| ・運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、 有効に機能しているか | 4 | 4 | 3 | 3 | 4 |
| ・人事、給与に関する規程等は整備されているか | 4 | 3 | 4 | 3 | 4 |
| ・教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 |
| ・業界や地域社会に対するコンプライアンス体制が整備されているか | 4 | 4 | 4 | 3 | 4 |
| ・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか | 4 | 4 | 4 | 3 | 4 |
| ・情報システム化等による業務の効率化が図られているか | 3 | 2 | 2 | 3 | 3 |

①課題

業務効率向上のために講師全員がシステム使用の徹底が必要

②今後の改善方策

現在、業務システムを仮運用しており、修正を行っている最中です。

③特記事項

地域の商工会議所など有識者に必要な知識等についてアドバイスを受ける。

(3) 教育活動

適切…4、ほぼ適切…3、
やや不適切…2、不適切…1

| 評価項目 | 講師1 | 講師2 | 講師3 | 講師4 | 平均 |
|---|-----|-----|-----|-----|----|
| ・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 |
| ・教育理念・育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に 対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 |
| ・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか | 4 | 4 | 3 | 4 | 4 |
| ・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 |
| ・関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 |
| ・関連分野における実践的な職業教育（産業連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 |
| ・授業評価の実施・評価体制はあるか | 4 | 4 | 3 | 3 | 4 |
| ・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 |
| ・成績評価・単位認定・進級・卒業判定の基準は明確になっているか | 4 | 3 | 4 | 4 | 4 |
| ・人材育成目標の達成に向け授業を行うことのできる要件を満たした教員を確保しているか | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 |
| ・関連分野における業界等との連携において優れた教育（本務・兼務含む）を確保 するなどマネジメントが行われているか | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 |
| ・関連分野における先端的な知識・技能等を習得するための研修や教員の指導力 など資質向上のための取組が行われているか | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 |
| ・職員の能力開発のための研修等が行われているか | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 |

①課題

授業を担当できる教員の人材発掘及び育成

②今後の改善方策

専門学校協会主催の教員研修に参加したり、外部IT企業の特別授業を受け入れることでIT技術の最新トレンドを理解する。

③特記事項

関連分野の企業と連携を開始した特別授業が、2年目を終えることが出来た。

※現在2社の企業が本校学生を対象に特別授業、給付型奨学金を行っている。

(4) 学修成果

適切…4、ほぼ適切…3、
やや不適切…2、不適切…1

| 評価項目 | 講師1 | 講師2 | 講師3 | 講師4 | 平均 |
|--|-----|-----|-----|-----|----|
| ・就職率の向上が図られているか | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 |
| ・資格取得率の向上が図られているか | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 |
| ・退学率低減が図られているか | 3 | 3 | 2 | 3 | 3 |
| ・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 |
| ・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 |

①課題

外国人留学生への対応

②今後の改善方策

言葉の壁があるので、補習や日本語教育を行う。

会社説明会に来た会社とは、個人的に連絡をしないよう周知していく。

③特記事項

今年度も就職100%達成(県内1 県外6)

外国人留学生の島内就職は容易ではない。本校の留学生は島内就職希望が多かった。

島内就職先の受け入れ態勢が現状整っていないと感じた。

外国人留学生の就労支援と地域活性化などを旨とする「奄美海外交流人材育成協議会」に参加しているので、引き続き、島内就労の定着化を目指し、地道に活動を行う。

(5) 学生支援

適切…4、ほぼ適切…3、
やや不適切…2、不適切…1

| 評価項目 | 講師1 | 講師2 | 講師3 | 講師4 | 平均 |
|--|-----|-----|-----|-----|----|
| ・進路・就職に関する支援体制は整備されているか | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 |
| ・学生相談に関する体制は整備されているか | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 |
| ・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか | 4 | 3 | 4 | 4 | 4 |
| ・学生の健康管理を担う組織体制はあるか | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 |
| ・課外活動に対する支援体制は整備されているか | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 |
| ・学生の生活環境への支援は行われているか | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 |
| ・保護者と適切に連携しているか | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 |
| ・卒業生への支援体制はあるか | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 |
| ・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 |
| ・高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか | 4 | 4 | 3 | 3 | 4 |

①課題

就職支援は、整備されているが、就職活動が早すぎるように思う。

②今後の改善方策

学生や保護者が納得のいくよう就職活動を進めていく。

③特記事項

ハローワーク、若者サポートステーションとの連携は、とてもよかった。

今年度から、東京都のIT企業が給付型奨学金を実施(2年生対象 月3万円 計36万円)

来年度も継続して実施する予定です。

国の「高等教育の修学支援新制度」対象校に選ばれました。

今後も広報活動や認定校に相応しい学校運営を続けていく。

(6) 教育環境

適切…4、ほぼ適切…3、
やや不適切…2、不適切…1

| 評価項目 | 講師1 | 講師2 | 講師3 | 講師4 | 平均 |
|---|-----|-----|-----|-----|----|
| ・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 |
| ・学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 |
| ・防災に対する体制は整備されているか | 3 | 4 | 3 | 4 | 4 |

①課題

施設についての行政の補助がない(修理は、現在実費)

②今後の改善方策

学外の実習、インターンシップは、地域の施設を利用できるよう企業と連携を模索中

③特記事項

防災に関しては、定期的に検査があり、不備があればその都度、直している。

定期的に県外企業(情報産業専門技術者)の方を特別講師として招いて、実務的な技術や知識を学んだ。

(7) 学生の受入れ募集

適切…4、ほぼ適切…3、
やや不適切…2、不適切…1

| 評価項目 | 講師1 | 講師2 | 講師3 | 講師4 | 平均 |
|------------------------------|-----|-----|-----|-----|----|
| ・学生募集活動は、適正に行われているか | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 |
| ・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 |
| ・学納金は妥当なものとなっているか | 4 | 4 | 3 | 3 | 4 |

①課題

例年通り、入学者が横ばいとなっている。

②今後の改善方策

各高校の進路ガイダンスや地域事業所の主催の説明会にも参加し、なんとか維持している。

島外からの受け入れをする為にも、HP更新やSNS連携をこまめに行う。

③特記事項

本校の募集活動は、鹿児島県専修学校協会の規定にのっとり正しく募集している。

学校HPの改修と同時に、Googleアナリティクスを導入し、全国各地から学校HPにアクセスしていることが分かった。

興味を持った学生に、資料請求をしてもらえるよう努力する。

(8) 財務

適切…4、ほぼ適切…3、
やや不適切…2、不適切…1

| 評価項目 | 講師1 | 講師2 | 講師3 | 講師4 | 平均 |
|---------------------------|-----|-----|-----|-----|----|
| ・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか | 3 | 3 | 2 | 2 | 3 |
| ・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか | 3 | 3 | 2 | 3 | 3 |
| ・財務について会計監査が適正に行われているか | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 |
| ・財務情報公開の体制整備はできているか | 4 | 4 | 4 | 3 | 4 |

①課題

さらなる財務基盤の安定化

②今後の改善方策

関連会社との連携等、雑収入を増やすなどの工夫

③特記事項

本校は、補助金なしで運営している。

(9) 法令等の遵守

適切…4、ほぼ適切…3、
やや不適切…2、不適切…1

| 評価項目 | 講師1 | 講師2 | 講師3 | 講師4 | 平均 |
|--------------------------------|-----|-----|-----|-----|----|
| ・法令、専修学校設置基準等の順守と適正な運営がなされているか | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 |
| ・個人情報に関し、その保護のための対策が取られているか | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 |
| ・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか | 3 | 2 | 3 | 3 | 3 |
| ・自己評価結果を公開しているか | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 |

①課題

自己評価の問題点の改善は、職員一人一人の抱える仕事が多すぎてなかなか進まない。

②今後の改善方策

職員を増やす。システム化で効率のいい事務処理を行う。本校学校教育に賛同してくれる企業等に協力を得る。

③特記事項

(10) 社会貢献・地域貢献

適切…4、ほぼ適切…3、
やや不適切…2、不適切…1

| 評価項目 | 講師1 | 講師2 | 講師3 | 講師4 | 平均 |
|--|-----|-----|-----|-----|----|
| ・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 |
| ・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 |
| ・地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 |

①課題

公共訓練は、教室数の問題や他民間PCスクールが独占しているため実施できない状況。

遠方への出張講座は、就業時間外では、できない。

②今後の改善方策

今のところ得策なし。

③特記事項

小中校のPC研修等で学校施設を使い、本校講師プログラミング講座をするなど協力した。

(11) 国際交流 (必要に応じて)

適切…4、ほぼ適切…3、
やや不適切…2、不適切…1

| 評価項目 | 講師1 | 講師2 | 講師3 | 講師4 | 平均 |
|-------------------------------------|-----|-----|-----|-----|----|
| ・留学生の受入れ・派遣について戦略を持って行っているか | 3 | 3 | 2 | 2 | 3 |
| ・留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続等が取られているか | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 |
| ・留学生の学習・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか | 3 | 3 | 3 | 3 | 3 |
| ・学習成果が国内外で評価される取組みを行っているか | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 |

①課題

直接の留学生受け入れは、まだしていない。(日本語学校卒業生のみ)

(4) 学修成果と同様に、外国人留学生就職受け入れ先の確保

留学生が日本で就職先を見つけられない原因として、外国人留学生向けの求人が少ないこと、留学生用就職情報があまり充実していないことが挙げられます。

②今後の改善方策

留学生の目的に沿ったサポート、学習を引き続き継続していく。

③特記事項

留学生の入学数が安定してきている。

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

IT企業との実践授業の実績ができた。

学校運営システムを改良し、2019年度中には、稼働する予定。

中高からの職場体験学習等の依頼については、すべて受け入れた。

小中校からのPC講座(プログラミング体験)授業や関連分野の説明をすべて受け入れた。

今後も学校運営の安定化を目標にあらゆる情報を活かしていきたい。

総合評価

AO入試が鹿児島県で平成29年度から、実施。

中学校、高校からの職場体験学習等の依頼が来ているので、令和1年度のすべて受け入れ、地域に貢献していきたい。また、本校関連分野の周知も図っていきたい。

令和1年度、本校初の外国人留学生が卒業した。全員在留資格を更新出来たが、

今後も就職先を見つけないといけな学生もいる。教職員連携し、引き続き実績を重ねていきたい。

企業と連携した実務型の授業を年間通して行うことができた。

本校独自の給付型奨学金を少しずつだが、周知出来つつある。国の給付型奨学金と併せてPRしていきたい。

今後も学校運営の安定化を目標にあらゆる情報を活かしていきたい。